

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たつの市障害児通所支援センター はばたき園		
○保護者評価実施期間	令和6年11月13日 ～ 令和6年12月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	127 (回答者数)	108
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・公立の事業所であるため、市の関係部局（障害福祉課、健康課、学校教育課、幼児教育課）、こども園、保育所、学校等、行政・福祉・教育の各分野における関係機関との連携体制が図られています。	・健康課（母子保健担当課）と同じ施設内にあり、健診後の見学希望者には、随時、相談に応じています。 ・月に1回、ケース会議を開催し、併行利用の園や学校、関係機関と共に支援内容や方向性を共通理解しています。 ・就園、就学に向けての流れや研修等の情報を収集しやすく、保護者に適切な助言を行っています。	・今後も関係機関と連携し、支援体制の強化に努めます。 ・関係機関との会議に積極的に参画したり、研修会に参加したりして、スキルアップを図りながら、個々により適した支援を行います。
2	・専門職（言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・公認心理士等）を配置し、多職種連携による支援を提供しています。	・個々の発達段階やニーズ、課題を捉え、各専門職と共に子どもの様子や支援方法を共有しながら、多面的な支援を行っています。 ・専門分野からの視点で、保護者に助言をしたり、家庭でできる取組を提供したりしています。	・多職種連携の充実を図るため、専門職同士の情報共有の機会を確保していきます。 ・専門職、保育士、指導員等が共通理解し、同じ方向性で支援を提供できるように、日々の振り返りや気づきの共有をより一層、大切にします。
3	・保護者による送迎のため、子どもの様子や支援内容等を保護者と情報共有し、共通理解を図りやすいです。	・送迎時には、日頃から子どもの様子を伝え合い、保護者と情報を共有しています。 ・保護者同伴の療育活動の中で、保護者が子ども理解を深めたり、関わり方を考える機会をもっています。 ・保護者から相談があれば適宜、部屋を用意し相談に応じたり、助言をしたりしています。	・療育終了後には、子どもの様子を具体的に丁寧に伝え、共有していくことで、保護者との信頼関係を構築していけるよう努めます。 ・保護者がいつでも安心して相談できるよう、職員全員で温かい雰囲気作りを心掛けます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信力が弱く、提供できる情報が限られています。 （紙ベースによるおたよりの発行や案内、予定表の配布が主な情報提供手段になっています。）	・写真掲載等により活動内容を伝えたいが、個人情報保護の観点から、公として発信できる手段や情報が制限されます。	・ホームページの内容を見直し、支援内容等の情報を利用者にとって、詳しく分かりやすい内容にします。 ・個人情報保護に配慮しつつ、子どもの活動の見える化を目指し、保護者へ情報発信の仕方を検討していきます。
2	・療育サービスと利用者の日程調整が困難であり、希望する療育が受けられないことがあります。	・専門職ごとの配置日数が少なく予約日の変更が困難です。 ・児童発達支援利用児は、就園率が高く、園行事や保護者の就労の都合で、利用できる曜日や日が限られています。 ・放課後等デイサービス利用児も、保護者の就労の都合と他の事業所とのスケジュール調整が難しいです。	・専門職の配置日数を増やしたり、配置体制を検討したりしていきます。 ・今後とも、利用しやすい曜日を可能な限り把握し、希望する療育を提供できるよう検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		たつの市障害児通所支援センター はばたき園						公表日	令和7年2月6日
		利用児童数						令和6年12月1日(135名)・家庭数(127)・回収数(108)	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	106	0	0	2	・広さは十分にあると思います。 ・軽い運動ができるスペースがあって、楽しく活動できています。 ・次の遊びにスムーズに移動できています。	・引き続きスペースを有効活用し、適切な療育環境の整備に努めます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100	1	1	6	・多くの先生で、よく子どもをみてくれています。 ・多いくらいだと思います。安心できます。 ・いつも何人かの先生が声掛けしてくださり、安心して預けられます。 ・STの数を増やし、一人当たりのSTを受けられる時間を増やしてほしい。	・集団療育では、より細やかな支援ができるよう、利用人数や活動によって適切に配置します。 ・専門職(ST)の配置日数を増やし、専門療育の充実を図ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	101	3	0	4		・子どもが移動や活動しやすい環境設定を行います。 ・スケジュールや活動内容をイラストや写真で分かりやすく提示します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	105	1	0	2	・いつ行ってもきれいです。	・毎日、清掃、消毒を行い、より快適で心地よい環境になるよう工夫します。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	105	0	0	3	・母子分離となり、すんなり行動できない時も子どもに声掛けしてくださっているの、助かります。 ・不得意なことも少しずつつづつてみようという支援をしてくれます。 ・今の言語と作業の先生は、お二人とも子どものことをよく考えてくださっています。	・職員や療法士間で、子どもの状態と家族や本人のニーズ、支援の方向性を共有し、多角的に支援していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	99	2	0	7	・少しずつ苦手部分をできるように工夫してくださり、ステップアップもできていると思います。 ・合っていると思います。	・支援プログラムを基に、個々の課題を捉えた支援内容を提供していきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	103	1	0	4	・よく聴き取りしてくださり、きちんとできています。	・子どもや保護者のニーズを十分に聴き取り、職員や療法士が多様な視点で子どもの姿を捉え、理解を深めながら個別支援計画を作成していきます。	
	8	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96	2	0	10	・今の内容で満足しています。	・併行利用の園や学校等をはじめ、子どもを取り巻く多職種が連携しながら必要な支援が提供できるよう支援内容を検討していきます。	
	9	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)に沿った支援が行われていると思いますか。	97	3	0	8		・個別支援計画の内容を定期的に確認しながら、計画的に支援を行います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	84	8	1	15	・1年間を通して行事ごとの活動があり、子どもにとって良いことだと思います。 ・季節を大切にしてもらえています。 ・季節ごとの行事など工夫されています。 ・ある程度の固定化は、致し方ないかと思います。 ・課題ができていてもできなくても、する内容が一緒のように感じます。 ・楽しみながら活動しているようで、先生方の工夫が毎回感じられます。	・今後も発達段階に応じた充実した活動プログラムを提供できるよう工夫します。 ・積み重ねが必要な活動は、プログラムの活動のねらいを保護者にわかりやすく説明し、共有できるようにします。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	46	8	14	40	・特になくいいと思います。 ・個別療育なのでどちらとも言えません。	・今後、保護者から要望があれば検討していきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	106	0	0	2	・分かりやすい説明でした。	・今後もわかりやすく丁寧な説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	104	0	0	4	・きちんと説明を受けました。	・今後もわかりやすく丁寧な説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50	4	12	42	・興味はありますが、行われていません。 ・家でできること等を教えてもらっています。	・ペアレント・トレーニングを予定しています。保護者同士の情報交換を行いながら家族支援をすすめていきます。また研修会等の情報提供を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	90	7	4	7	・よくお話を聞いてくれると思います。 ・月に一度の利用のため、どちらともいえません。	・保護者が話しやすい雰囲気作りを心掛け、送迎時に子どもの様子を伝え合いながら共通理解していけるよう努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	84	12	4	8	・毎回、活動の始めと終わりに困りごとなどを聞いていただいています。 ・都度、相談すればどの先生も話を聞いてくださいます。 ・2か月に1度では、足りません。 ・いろいろ助言いただいています。 ・月に一度の利用のため、どちらともいえません。	・保護者が安心して相談できる関係を築いていけるよう努めます。 ・利用時だけでなく、いつでも気軽に相談に来てもらえるよう伝えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100	1	1	6	・子どものことを知ろうとしてくれているのが伝わります。	・保護者や家族の思いに寄り添っていけるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	28	12	17	51	・親同士の交流の場があると心強いです。 ・家族、兄弟の支援というのは今まで感じたことはありません。 ・そういう行事があるのかは、知らないです。	・集団療育の機会を捉え、保護者同士が交流し、つながりがもてるよう働きかけていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	88	3	3	14	・適切だと思います。	・相談や申入れの対応体制が整備されていることを周知していきます。また、相談や申入れがあった際には、迅速かつ丁寧に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97	1	2	8	・こまめに連絡してくれます。	・今後も子どもの様子や連絡事項を口頭で分かりやすく丁寧に伝えていきます。 ・必要に応じて子どもや保護者と一緒に、より理解し合える伝達方法を検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	53	9	6	40	・毎月おたよりがあり、分かりやすいと思います。	・今後もおたよりを継続して発行します。 ・ホームページの活用による情報発信は、今後、内容を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95	1	0	12	・おたよりの写真も顔が分からないようになっていきます。 ・何をもって留意されていると判断するのか不明です。	・個人情報の取扱いについては、契約時や他機関と情報共有の必要な場合には、保護者に説明し、同意を得ます。 ・個人情報は厳重に管理し、取扱いには十分留意します。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	71	6	3	28	・張り紙や説明があります。 ・訓練等が行われているかどうかは、確認したことがありません。	・各マニュアルや訓練の実施状況について、保護者に周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	66	7	3	32	・個別療育なので、どちらともいえません。 ・まだ入ったばかりで避難訓練は、未経験です。	・引き続き避難訓練を実施し、訓練の実施状況をおたより等で発信していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87	2	2	17	・運動遊びの時もケガをしないように配慮されていると思います。	・施設や用具、活動内容等をチェックし、職員で連携しながら子どもの安全面に十分配慮します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75	5	0	28	・そのようなことがあったと聞いたことがないですが、あれば適切に対応してくださると思います。 ・今まで事故等なかったのですが、活動内容を教えてもらえるので大丈夫だと思っています。 ・今までそういった事象に遭遇していないので、分かりません。 ・細かいことでも教えてください。	・引き続き、療育中に事故（怪我等）や体調の変化があった時には、速やかに対応し、必ず保護者に状況等を報告します。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97	9	0	2	・のびのび活動しています。 ・いつも「楽しかった。また行きたい」と言っています。	・子どもや保護者にとって安心して利用していただける場所となれるよう、今後とも努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	97	9	0	2	・毎回、楽しみにしているようです。 ・「今日は、はばたき園に行かないの？」とよく聞いてきます。	・職員や療法士との関わりを楽しみに通所していただけるよう、子どもや保護者との信頼関係の構築に努めます。 ・次回の活動に見通しや期待をもち、通所を楽しみにできるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	101	4	2	1	・できることも増えて落ち着いて活動できています。 ・こども園での困りごとをいつも解決してくれます。 ・個別療育の先生の人数を増やしてほしいです。 ・1か月に1度は通いたいがいっぱいのようなので…。 ・いつもありがとうございます。 ・子どもですが、親も精神的にとて助かっています。	・療育内容の充実を図れるよう、職員や療法士が一体となって支援をすすめます。 ・希望する個別療育を利用できるよう、療法士の配置日数を増やし、専門療育の充実を図ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
たつの市障害児通所支援センター はばたき園		令和7年2月6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・提供サービスごとに部屋を確保しています。 ・十分なスペースがあり、利用定員や活動内容に応じて部屋の仕様を工夫しています。	・今後も活動内容に応じて適切な環境設定を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・人員基準に応じた職員数を配置しています。 ・複数の職員で見守り、十分な個別サポートができます。	・人員基準での配置を行うとともに、子どもの状態や活動内容に応じて個別にサポートできるよう配慮します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・施設内は、バリアフリーで利用しやすい空間です。 ・視覚支援により部屋や用具の場所が分かりやすいよう絵表示しています。	・子どもが活動しやすいよう動線に配慮した環境設定を行います。 ・スケジュールや活動内容の提示を行い、視覚的に分かりやすく見通しがもてるよう工夫をします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・毎日、清掃、消毒を行い、清潔を心掛けています。 ・適宜、室温調整や換気を行い、心地よく過ごせるようにしています。	・引き続き、衛生面に留意し、より快適で心地よい環境になるよう工夫します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・子どものコンディションに合わせて部屋や場所を提供し、気持ちを落ち着けられるようにしています。	・今後も必要に応じて配慮していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	・定期的にミーティングを実施し、現状把握と振り返りを行い、情報共有をしています。	・全職員によるミーティングで、活発な意見交換が行えるようにするとともに、専門職の意見や提案も積極的に反映していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・保護者向けアンケートの評価結果を基に、保護者の意向等を職員全員で把握、共有し、業務改善につなげています。	・保護者等の意向を受け、改善策を全職員で検討していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・職員一人一人の意識が高く、日頃から環境整備や業務改善に向けた提案を積極的に行っています。	・今後も日頃から職員の意見交換の機会を十分にもち、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	・現在は、第三者評価を受審していません。	・今後、受審について検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・外部研修に参加したり、園内研修を実施したりして、資質向上に努めています。	・職員の資質向上を図るため、計画的に研修の機会を確保していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	10	・現在、支援プログラムを作成中です。	・年度内に公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	10	0	・個々にアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズを把握し、課題を分析した上で、個別支援計画を作成しています。	・子どもや保護者のニーズを詳しく把握できるよう、アセスメントシートにより丁寧に聴き取りを行います。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・個別支援会議にて利用児のニーズや課題を職員全員で話し合い、支援の方向性やアプローチの仕方を検討しています。	・今後も職員や専門職（OT,ST,PT等）の共通理解のもと、子どもにとって最善の支援のあり方を検討していきます。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・個別支援計画の内容は、書面や口頭で職員間で共有し、計画に沿って支援を行っています。	・個別支援計画を職員間で共有し、療育後には振り返りを行いながら、計画に沿った支援をすすめます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・発達検査やアセスメントシートによる客観的な情報、また面談や日々の行動観察により確認しています。	・様々なアセスメントにより総合的に子どもを理解し、課題の把握ができるよう努めます。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・アセスメントで把握した家族のニーズや本人の意向を基に各項目の視点で課題を捉え、具体的な支援内容を設定しています。	・引き続き、必要な項目を捉え、分かりやすく具体的な支援内容を設定していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・主となる保育士が立案したプログラムを基に事前にミーティングを行い、意見交換しながら利用児に適したプログラムを検討しています。	・引き続き、職員間で意見交換しながら、より適した活動プログラムを提供できるよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・集団療育では、個々の課題や参加人数等に応じて、随時、活動プログラムを計画しています。また、季節感を感じられる活動を取り入れ、様々な経験を積み重ねられるよう工夫しています。 ・個別療育では、専門職（OT.ST.PT等）により個々の興味や課題に応じたプログラムを提供しています。	・今後も発達段階や個々の課題に応じ、子どもが興味関心をもって取り組める活動プログラムを工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	10	0	・児童発達支援は、発達段階やニーズ、利用状況に応じて個別支援計画を作成し、個別療育と集団療育を提供しています。 ・放課後等デイサービスは、専門職（OT.ST.PT等）による個別療育のみ実施しています。	・引き続き、個々の課題に応じて必要とする療育を提供していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・支援開始前には、職員間で必ず活動内容や役割分担の確認を行い、利用児の特性に配慮した支援ができるよう努めています。	・引き続き、支援開始前に綿密な打ち合わせを行い、利用児個々に適切な支援ができるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・集団療育終了後には、職員全員で「振り返り」を行い、活動内容や利用児の様子、支援者の気づき等を共有し、支援方法を検討しています。 ・個別療育では、専門職（OT.ST.PT等）と共に、当日の利用児の取組について共有する時間を設けています。	・引き続き、支援終了後にはミーティングの時間をもち、職員間で振り返りを行い、気づき等を共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・支援終了後には、当日の活動内容や利用児の様子、支援者の気づき等を記録し、支援の振り返りや改善につなげています。	・支援当日には必ず記録をとり、支援改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・半年に一回モニタリングを行い、目標の達成状況を確認し、保護者のニーズも確認しながら個別支援計画の見直しを行っています。	・今後も、定期的にモニタリングにより個別支援計画の見直しを行っています。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	1	・基本的な生活スキルや将来の自立に必要なスキルを身に付けられるよう支援しています。また、創作活動や運動遊び、コミュニケーション活動等、個々に応じた多種多様な活動プログラムを提供しています。	・支援の方向性を確認し合えるよう、各専門職間の支援内容や取組のすり合わせができる機会を設ける。
	25	【放デイのみ】子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・個別療育の療法師とのやりとりの中で、課題や遊びを選択する経験を積み重ね、自己決定していけるように支援しています。	・活動の中で、自己選択の機会を多くもてるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・主に児童発達支援管理責任者が参画し、会議の内容に応じて保育士も参画しています。	・今後も継続して会議に参画します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	・月に1回ケース会議を開催し、健康課や教育委員会、幼児教育課、園、学校等と連携を取り共通理解を図りながら支援をしています。	・今後も各関係機関との連携体制の強化に努めます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	6	・児童発達支援センター主催の研修会に参加はしていますが、助言・相談等による連携の機会には、少ない状況です。	・今後、児童発達支援センター等と連携体制を整えていけるよう努めます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	10	・交流活動の機会はありませんが、利用児の大半が保育所やこども園、学校との併行利用のため個々に交流する機会があります。	・交流の機会を、保護者から要望があれば検討していきます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・保護者による送迎のため、送迎時に日頃から子どもの様子を伝え合う機会があり、共通理解をもつことができます。	・日頃から保護者が話しやすい雰囲気作りを心掛け、送迎時に子どもの様子を伝え合いながら共通理解していけるよう努めます。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	・ペアレント・トレーニングは、今後実施予定です。 ・家族等が参加できる研修会の案内は、待合室の掲示板等で情報提供をしています。	・ペアレント・トレーニングを実施し、保護者同士の情報交換を行いながら家族支援をすすめていきます。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	・利用児のうちほぼ全員が保育所やこども園、学校等に通っており、定期的に情報共有を行っています。 ・在宅児には、入園に向けての情報提供や助言をしています。	・併行利用の保育所やこども園、学校等と連携し、情報共有しながら支援を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・就学前には、特別支援学校と連携し、支援内容や配慮事項等について情報提供と共通理解を行っています。	・今後も連携を強化し、相互理解を図っていきます。
	34	【 <u>児発センターのみ</u> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【 <u>児発センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	10	0	・学校の行事予定等は、教育委員会を通して情報共有をしています。 ・送迎を実施していないため、下校時間等は把握していません。	・今後も必要な情報の共有を継続していきます。
	38	【 <u>放デイのみ</u> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	・児童発達支援から放課後等デイサービスへと移行し、引き続き利用されることが多いため、日頃から情報共有ができています。	・今後も保育所やこども園との連携を継続していきます。
	39	【 <u>放デイのみ</u> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	10	・小学校卒業時に利用を終了することが多く、障害福祉サービス事業所等へ移行する対象者がいないので情報提供は行っていません。	・対象者があれば、必要に応じて連携していきます。
	40	【 <u>放デイのみ</u> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	・今年度から『たつの市障害者等地域自立支援協議会』に参加しています。	・『自立支援協議会』等に参加し、他機関と連携して地域課題の把握に努め、当事業所の支援のあり方を検討していきます。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・見学や利用契約時には、重要事項説明書やしおりを用いながら説明しています。	・丁寧な説明を心掛け、不明な点については、随時、わかりやすく説明をします。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・サービス利用計画書により意向を踏まえた上で、面談をもち、家族の思いや本人のねがいを確認しています。	・今後も継続していきます。
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	・半年に一度、個別支援計画を示しながら保護者に支援内容の説明を行い、同意を得ています。	・今後も継続していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・療育送迎時に保護者から相談があれば適宜、助言をしたり面談の時間を設けたりしています。また、電話での相談も常時受け付け対応しています。	・今後も保護者が安心して相談できる関係を築いていけるよう努め、家族等が必要とする支援を継続していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9	・父母の会や保護者会の開催はありません。 ・集団療育日には、自由遊びの時間に保護者同士で話をしながら交流し、つながりをもつ機会となっています。	・ペアレント・トレーニングを実施し、保護者同士の交流の機会を設けていきます。 ・集団療育の中で、保護者同士が触れ合い、つながりがもてるよう働きかけていきます。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・苦情対応マニュアルにより体制を整備しています。苦情申立先を重要事項説明書に示し、保護者にも周知しています。 ・相談や苦情があった場合には、児童発達支援管理責任者及び管理者が迅速に対応しています。	・今後も相談や苦情があった場合には、迅速かつ丁寧に対応していきます。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月おたよりを発行し、療育の予定や保育内容等について知らせています。 ・SNSを利用した情報発信は、個人情報保護の観点から行っていません。	・HPの活用による情報発信や情報共有は、今後の課題です。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人情報については、個人情報保護法に沿った対応を行っています。 ・個人情報記載のファイルは、施錠できる棚に保管し、取扱いには十分留意しています。	・個人情報の取扱いについては、慎重に対応を行うよう、引き続き職員間で周知徹底します。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・子どもに伝わりやすいように写真や絵カード、見本等を用いて丁寧に関わっています。 ・保護者には、必要に応じて筆談やFAX、タブレット等を利用し、情報伝達しています。	・分かりやすく丁寧な伝え方を心掛け、意思の疎通ができるよう配慮します。 ・必要に応じてより理解し合える伝達方法を検討していきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	10	・地域に開放した行事や事業は、行っていません。	・行事等については、保護者等の要望や地域のニーズにより検討します。
	51	【 <u>放デイのみ</u> 】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・保護者や家族から相談を受けた際には、落ち着いた話ができる環境を確保し、相談に応じています。	・今後も保護者が話しやすい雰囲気作りを心掛け、保護者の思いに寄り添っていきけるよう努めます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・各種マニュアルを策定し、職員に周知しています。 ・保護者へ周知は掲示で行っています。	・各種マニュアルの見直しを行い、利用児の安全、安心を確保できるよう努めるとともに、保護者への周知方法について検討していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・避難訓練は、施設内の職員と連携し、合同で実施しており、利用児と保護者も参加しています。	・全職員が非常時に対応できるよう定期的に訓練を実施していきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・利用契約時や半年ごとの保護者からの聴き取り、また利用時に適宜、服薬等の状況を確認しています。	・今後も継続して確認していきます。
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	10	・食事提供を行っていないため、医師の指示書による対応はしていません。	・今後も健康面で留意すべきことを確認していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	・療育開始前には、施設内の安全チェックを行っています。また、子どもの特性に留意し、安全に活動できるよう支援方法を職員間で共通理解しています。	・研修や訓練内容を検討していきます。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4	・保護者が控室で待機されていることが多くすぐに連絡が取れるため、取り立てて周知はしていません。	・今後は、安全計画の取組を保護者に周知していけるように工夫します。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ヒヤリハット事案は、必ず記録し、職員間で共有して事故防止に努めています。	・今後も継続して安全管理に努めます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・毎年、虐待防止や身体拘束適正化、不適切保育の防止等の研修を行っています。	・今後も継続していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	・身体拘束適正化と虐待防止について職員間で周知徹底しています。保護者同伴での利用のため、身体拘束を実施しておらず、個別支援計画への記載はありません。	・今後万一必要なケースが発生した場合には、子どもや保護者の了解を得た上で、慎重かつ適切に対応していきます。